

東京大学 REASE 公開講座

入場無料



「合理的配慮 —対話を開く, 対話が拓く—」



参加登録は

<http://www.rease.e.u-tokyo.ac.jp/> より

REASE公開講座ページへ

日時 2016年7月16日(土)

午後1時30分～5時30分 (開場午後1時)

会場 東京大学本郷キャンパス

経済学研究科棟地下1階 第一教室

4月1日に施行された障害者差別解消法と改正障害者雇用促進法に定める合理的配慮を取り上げます。法施行後、合理的配慮に対する関心はますます高まっていますが、合理的配慮とは何であり、合理的配慮がどのような意義と限界があるのか、必ずしも明らかであるとはいえません。この公開講座を通じて、学際的な観点から合理的配慮の意義、限界、可能性を明らかにしたいとおもいます。

プログラム

「合理的配慮とは何か」(仮題)

川島聡(岡山理科大学総合情報学部社会情報学科・准教授)

「合理的配慮は社会を「歪める」のか?」(仮題)

星加良司(東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター・専任講師)

「合理的配慮とプライバシーの問題」(仮題)

西倉実季(和歌山大学教育学部・准教授)

「多様性を踏まえた合理的配慮に向けて」(仮題)

飯野由里子(東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センター・特任研究員)

指定発言

近藤武夫(東京大学先端科学技術研究センター・准教授)

川越敏司(公立はこだて未来大学システム情報科学部複雑系知能学科・教授)

司会者・研究代表者: 松井彰彦(東京大学大学院経済学研究科・教授)

情報保障: 手話通訳、文字通訳、磁気ループ

車イスをご利用の方、介助者同伴の方、盲導犬同伴の方、点字レジュメ、拡大文字レジュメ、磁気ループをご利用の方は、お申し込みの際に登録フォームにてお知らせください。

※点字資料をご希望の場合は1週間前・7月9日までに申し込みください。

主催:

「社会的障害の経済理論・実証研究(REASE)」

研究代表者: 松井彰彦(東京大学教授)

お問合せ: rease@e.u-tokyo.ac.jp

科学研究費基盤研究S 24223002

「社会的障害の経済理論・実証研究」

研究代表者 東京大学大学院経済学研究科 松井彰彦

社会的障害の研究から経済理論や社会の歪みをみつめ、経済学を考える

Research on Economy And Social Exclusion
社会的障害の経済理論・実証研究